

# 東北地方 1か月予報

(1月30日から2月28日までの天候見通し)

平成22年1月29日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

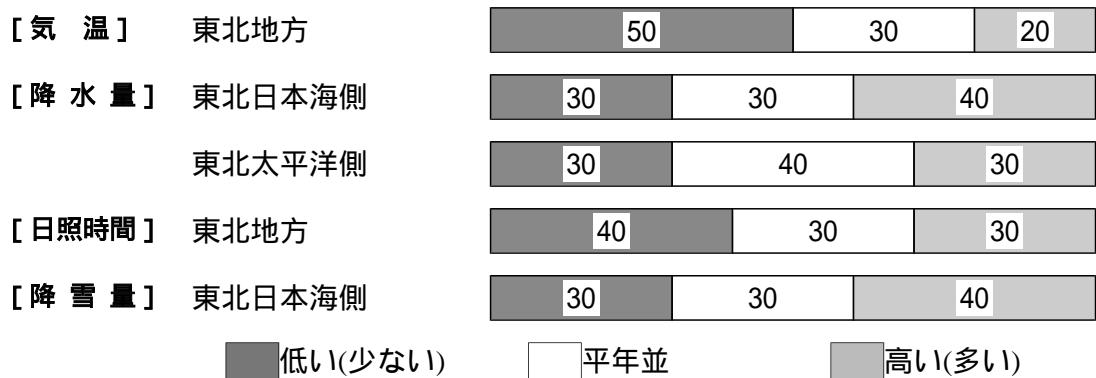
期間の前半を中心に気温の低い日が多い見込みです。

## <予想される向こう1か月の天候>

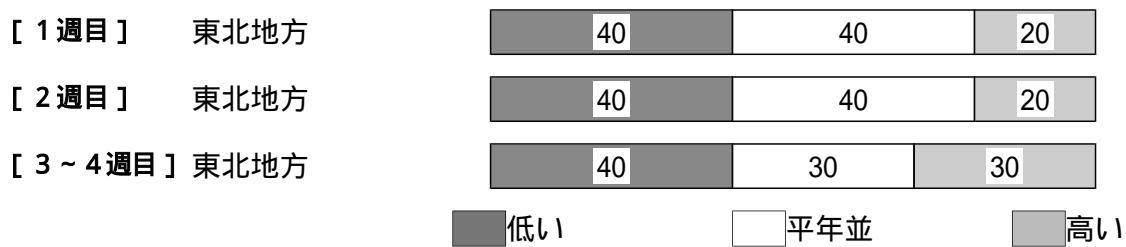
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は低い確率が50%です。  
週別の平均気温は、1週目は平年並または低い確率とともに40%、2週目は平年並または低い確率とともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 1月30日(土) ~ 2月28日(日)  
1週目 : 1月30日(土) ~ 2月5日(金)  
2週目 : 2月6日(土) ~ 2月12日(金)  
3~4週目 : 2月13日(土) ~ 2月26日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月5日  
3か月予報：2月25日(木) 14時  
暖候期予報：2月25日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.2	122.9	77.2	219	-1.9	-1.6	-0.8
深浦	-0.3	80.8	51.1	124	-1.0	-0.6	0.0
むつ	-1.6	88.7	97.4	178	-2.2	-2.0	-1.2
八戸	-1.0	54.5	141.1	110	-1.7	-1.3	-0.6
秋田	0.1	96.6	68.6	126	-0.6	-0.2	0.5
盛岡	-1.7	55.9	137.6	103	-2.5	-2.1	-1.2
大船渡	0.8	57.2	151.7	30	0.2	0.5	1.2
宮古	0.2	78.8	162.8	73	-0.4	-0.1	0.5
仙台	1.7	48.4	161.8	37	0.9	1.4	2.0
石巻	0.8	43.9	174.6	23	0.0	0.6	1.2
山形	-0.3	72.2	105.4	157	-0.9	-0.5	0.1
新庄	-1.0	153.0	59.4	258	-1.6	-1.2	-0.7
酒田	1.4	121.1	62.9	127	0.8	1.2	1.7
福島	1.7	50.6	155.1	71	1.0	1.4	2.1
若松	-0.4	71.6	102.6	170	-1.1	-0.7	0.0
白河	0.4	40.7	164.8	54	-0.3	0.1	0.8
小名浜	3.7	60.8	187.0	0	3.0	3.4	4.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.5	79～109	96～104	80～114
東北日本海側	-0.3～+0.5	92～107	91～108	89～113
東北太平洋側	-0.3～+0.6	65～116	99～103	74～117

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.8	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.8	-0.7～+0.9	-0.6～+0.7
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.7～+0.9	-0.5～+0.7

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成22年1月29日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(1月30日~2月28日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

期間の前半を中心に気温の低い日が多い見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

1月25日発表の3か月予報では2月の平均気温の確率を低い30%、平年並40%、高い30%と予報していましたが、ほぼ2月を対象とする今回の1か月予報では低い50%、平年並30%、高い20%と低い確率が大きくなりました。

### 1週目(1月30日~2月5日) :

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の降る日が多いでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心におおむね晴れますが、期間のはじめは気圧の谷の影響で雪や雨の降るところがある見込みです。

平均気温は平年並または低い確率とともに40%です。

### 2週目(2月6日~2月12日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率とともに40%です。

### 3~4週目(2月13日~2月26日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

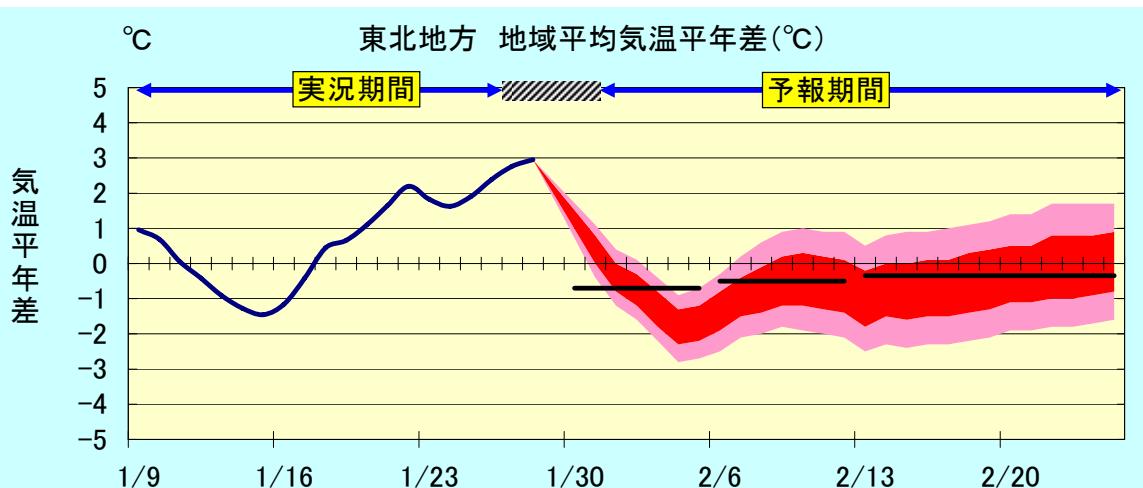
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	6.0日	1.2日	1.4日	3.4日
東北太平洋側	18.0日	4.6日	4.7日	8.7日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目とともに平年を下回る予想となっている。



・グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。

・予報期間には7日間平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示。

・水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。

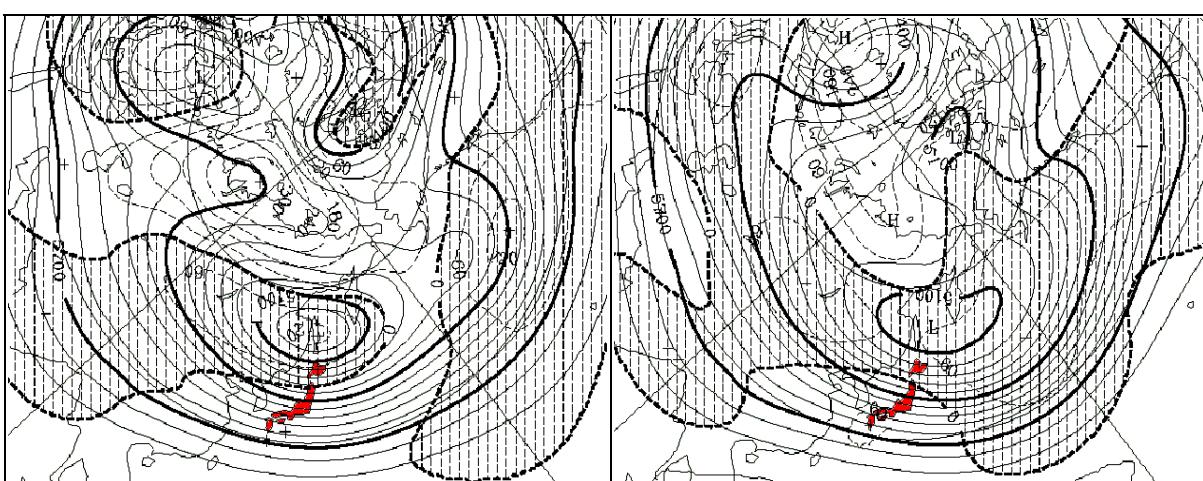
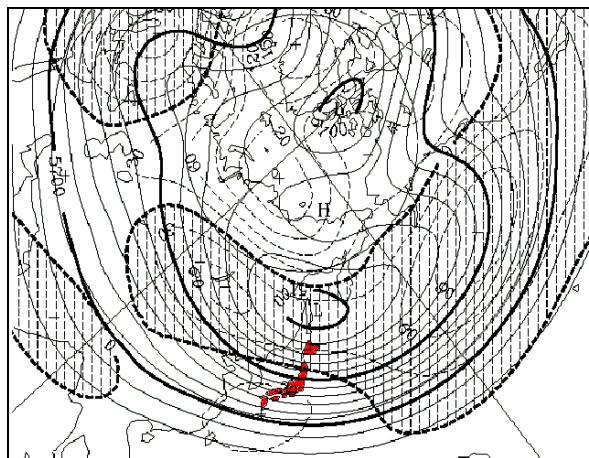
・ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

**1か月平均:**九州の南を中心に正偏差が広がるが、バイカル湖付近から日付変更線の東まで負偏差で、東北北部も負偏差がかかる。850hPa 気温偏差図(図略)では東北南部まで負偏差で、低温が予想される。

**1週目:**サハリン付近を中心に負偏差で、東北北部に負偏差がかかる。850hPa 気温偏差図(図略)では東北南部まで負偏差で、低温傾向が予想される。

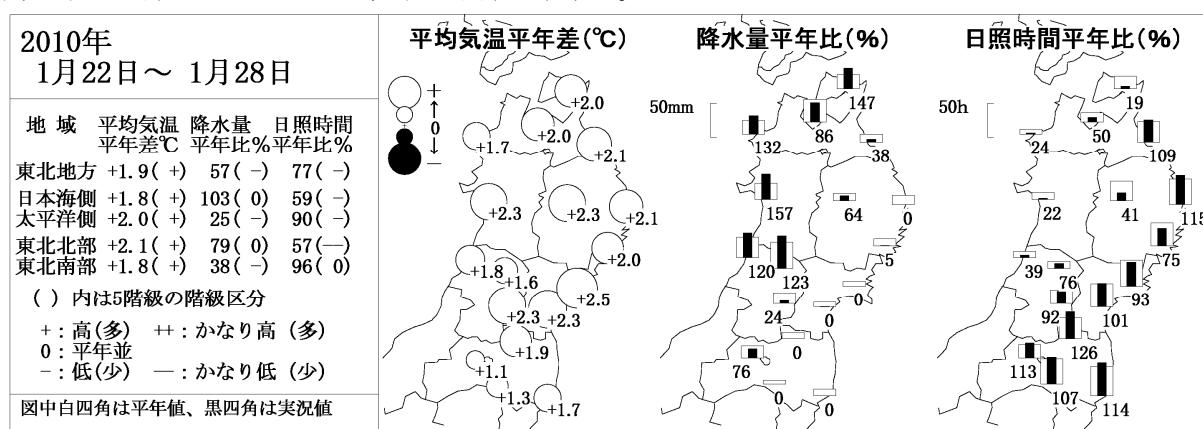
**2週目:**九州を中心いて正偏差が広がり、東北地方も正偏差となるが偏差は小さい。850hPa 気温偏差図(図略)では北日本は負偏差で、東北地方は低温傾向が予想される。



### 4. 最近1週間 (1月22日～1月28日) の天候の経過

期間のはじめは冬型の気圧配置となり東北日本海側で曇りや雪、東北太平洋側では沿岸部を中心におおむね晴れた。期間の中頃からは冬型の気圧配置は緩み、天気は数日の周期で変化した。また、南よりの暖かい空気が入り気温は高くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)